

議 事 録

会 議 名	令和4年度第2回八潮市水道運営委員会
開催日時	令和4年11月30日（水） 午前9時56分～11時15分
出席委員	村山委員長、坪田委員、渋谷委員、恩田委員、飯山委員、山中委員、村松委員、木村委員、玉森委員 9名
次 第	1. 開 会 2. あいさつ 3. 議 題 (1) 令和3年度八潮市上水道事業の決算について (2) 令和4年度八潮市上水道事業上半期仮決算について (3) その他 4. 閉 会
議 事	<p>1. 令和3年度八潮市上水道事業の決算について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○主な質疑応答</p> <p>（ 委員 ） 純利益が3億6,976万円、不足金が6億4,670万円となっている。この状態についてどのように判断しているか。</p> <p>（ 事務局 ） 純利益と不足金の金額を見ると、赤字が出ているように見えるが、不足金の補てん財源として消費税の調整額や減価償却費なども充てており、積立金の取り崩し額は令和3年度の純利益を下回っている。このため、積立金の収支としては増加している状況である。</p> <p>（ 委員 ） 水道運営委員会の傍聴制度は以前からあったのか。</p> <p>（ 事務局 ） 制度は以前からあり、市民の方に水道だよりや市ホームページなどでお知らせをしている。ただし、近年は傍聴希望者がいないという状況が続いている。</p> <p>（ 委員 ） 令和3年度配水管工事完了図では、主に八潮市の南側で布設替工事が多く行われているようだ。市北側の工事は既に終了しているということか。</p> <p>（ 事務局 ） 主にポリエチレン管で漏水している管や、老朽化している管から優先順位付けし布設替え工事を行っている。以前区画整理事業を行った稲荷伊草第一地区や浮塚、緑町では老朽化が進んでいるため、工事箇所が多くなっている。</p>

(委員)

耐用年数にかかわらず、交通量や管の点検状況等を踏まえた水道管の更新をお願いしたい。

(事務局)

交通量の多さというよりは、漏水調査や点検など行った結果等から更新する水道管を決定している。

(委員)

剰余金は、前年度と比較して増減はあるか。

(事務局)

令和2年度の剰余金合計額は23億7,680万9,569円、令和3年度は24億5,286万1,070円であった。令和2年度と比較すると7,605万1,501円の増加となった。

(委員)

県水の受水量が増加しているのに対して、配水量が減少しているのはなぜか。

(事務局)

県水は年度当初に年間受水量を契約していて、配水量が減少しても、契約した水量を受水しなければならないためである。

(事務局)

令和3年度は令和2年度よりも配水量が増えるという見込みを立て、県水の契約受水量を増やしたが、実際は想定したほど配水量が増えなかったため、結果的に県水の割合が増えている。

(委員)

県水の受水量を下げ、単価の安い井戸水の割合を増やすことで、水道料金を下げるといったことは可能か。

(事務局)

各水道事業体で県水の受水割合が決まっているため、県水を大幅に減らすことは難しい。

(事務局)

井戸水の汲み上げ量に余力を持たせることで、県水の汚染が発生した場合でも最低限の水が送れるような受水割合にしている。

(委員)

八潮市の地域特性などを考慮し、流動的に受水量を変えられるように県と協議していただきたい。

2. 令和4年度八潮市上水道事業上半期仮決算について事務局から説明後、質疑応答を行った。

質疑なし

3. その他（基幹管路等耐震化事業第5期工事）について事務局から説明後、質疑応答を行った。

○ 主な質疑応答

（ 委員 ）

柳之宮橋の架け替えに合わせて水道管の更新をするなど、他事業者との連携を行っているのか。

（ 事務局 ）

柳之宮橋の架け替えや、県や市の区画整理事業に合わせて効率的な水道管の更新を行っている。

以 上